

Title	忘れられないクリスマスイブ・・・<特集：図書館の浸水事故と復旧>
Author(s)	百々, 美由紀
Citation	バベルの図書館：総合人間学部図書館報 (2005), 9(2): 37-37
Issue Date	2005-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/153036">http://hdl.handle.net/2433/153036</a>
Right	
Type	Article
Textversion	publisher

## 忘れられないクリスマスイブ・・・

百々 美由紀

2004.12.24 人環・総人図書館が水道管破裂により水漏れが発生し、図書館員、事務員全体がパニックに陥りました。朝、いつものように出勤すると図書館内が水浸しで床には水を吸取る為に新聞紙が数多くひかれていました。私は何があったのか訳がわからず訪ねたところ、夜中に水道管が破裂し何時間も水が流れていたとの事でした。夜中に水漏れの連絡が入り、すぐに図書館員の方が駆けつけて作業をして下さったそうです。その為、私の出勤時にはかなりの水量が減っていたと思います。この場を借りて夜中に駆けつけて作業をして下さった方々ありがとうございました。

書庫へ降りると天井からは水がポタポタ滴りおち、床に水が溜まり、資料にも水が染み渡っていました。エレベーターも機動する度、ジャパーという大量に溜まった水の音がし、すごく恐怖を感じました。その日は急遽図書館を閉館。書庫内の濡れた資料を 2 階大閲覧室に運び出し、重ねあった資料を机に一冊ずつ置いていく作業。量が多すぎて床にも数多く並べました。古書は劣化しているうえ、水分を含み形も歪み何ともいえない状態です。資料以外にも地下に溜まった水をひたすらくみ上げ本当に想像絶するものでした。資料を 2 階大閲覧室に並べ終えた後、更半紙を 1 ページずつ挟んでいきました。これは水分を取り除く為です。地道な作業で正直気が遠くなりました。急遽バイトを募集し、業者、院生、職員の方々総出で作業をしました。最終はどの資料が水害にあったかのチェックです。この作業も手作業。床をはって一冊事登録番号を控えていき、どの史料が水害にあったか把握する為行いました。今回想像もしていなかった事が起きてしまい、貴重な資料が破損しすごく残念です。未だに床はゴコゴコしていて、いつか床が抜けるのでは？と密かに私は思っています。水害他が、他館(室)にも起こる可能性が無いとはいえません。起こる前に図書館(室)の点検を常に行う事が大切だと思います。

(もも みゆき, 人間・環境学研究科総合人間学部図書館)